

経済学部 新カリキュラム科目

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。

*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

分野	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
学科 基幹科目 (必修)	ミクロ経済学入門	EK1101	経済活動を行う個別の経済単位である消費者（家計）や生産者（企業）の需要・供給行動とともに、市場での交換を通じて決まる取引量や価格の決定メカニズムを学ぶ。	○	◎	○	◎	○									
	マクロ経済学入門	EK1102	GDPや物価指数などマクロ経済の動きを見る上で不可欠な指標を理解し、それらが実際どのように動いているのかを学ぶ。	○	◎	○	◎	○									
	専門基礎演習	EK2101	3年次以降の専門演習での研究活動に備え、社会への問題意識を抱き、その解決策を模索する訓練を行う。	○	◎	◎	○										
	専門演習	EK3101	各自が研究テーマを設定したうえで、研究報告書を作成して、4年次で卒業研究を履修するための学問的基礎を形成する。	◎			◎	○	◎	◎							
	卒業研究	EK4101	各自が研究テーマを設定したうえで、卒業論文を作成することを最終目的とする。	◎			◎	○	◎	◎							
学科 基幹科目 (選択)	統計学入門	EK1301	度数分布を理解し、平均、分散、標準偏差等を計算できるようにする。基本的な連続型確率変数として、正規分布を説明する。		○	◎		○									
	経済史入門	EK1302	「歴史的事象を経済学的に理解すること」を通して「資本主義システムの成立過程と特質を解明すること」が目的である。	○	○	○	◎	◎									
	日本経済入門	EK1303	戦後日本経済が迎ってきた大まかな歴史を、復興期、高度成長期、安定成長期、バブル崩壊以降の4期に分け学び、現在の日本経済がいかんして成立してきたのかについて理解する。	○			○	◎		○	○						
	財政学入門	EK2301	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○		○							
	金融論入門	EK2302	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、初級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を習得する。特にマクロ金融に関連したテーマを扱う。	○	◎		○		○	◎							
	国際経済学入門	EK2303	比較優位に基づく自由貿易の利益と保護主義による社会的損失を理解する。また国境を越える取引を総括した国際収支表の理解を通じて貿易黒字・赤字の真の意味を理解できるようにする。	○	◎	◎	◎			○							
	デジタルプレゼンテーション	EK1304	ノートパソコンによるプレゼンソフトの実習で、コミュニケーション能力を養う。聴衆の興味を引く、効果的なプレゼンができるスキルを身につける。			○				◎		○					

経済学部 新カリキュラム科目

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。

*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

分野	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
	データ表現技法	EK1305	表計算ソフトの実習で経済学に必要なグラフの作成スキルを習得する。データに適した分かりやすいグラフを作成できる能力を養成する。		○	◎							○				
	アカデミックスキルズ	EK3301	卒業研究や卒業論文を進める際に最低限必要なスキル（資料調査・プレゼン・文章作成など）を身につけ、他の学生にも教えられるようにする。		○	○				◎	○	○					
	経済テーマ演習	EK3302	eラーニング教材「経済学コア6」の学習内容を振り返り、経済学の課題発見とその解決方法の理解を深め、卒業研究を進める際に役立つ。	◎	○		○	○			○						
経済理論と情報	統計学	EK2304	クロス分析や回帰分析を中心に、より高度な分析ツールを用い、経済・社会の動きの特徴を捉えられるようにする。	○	◎	○	○										
	経済数学	EK2305	中級レベルの経済学に登場する数学のうち、微分法について、応用上最も重要な部分について講義する。特に、ラグランジュ乗数法について深い数学的理解をえることを目的とする。		◎		○		○								
	ミクロ経済学1	EK2306	中級ミクロ経済理論のうち、完全競争市場を前提とするものとして、消費者行動理論・生産者行動理論・一般均衡理論の3つを学ぶ。（小出・佐藤）		○		◎	○	○	○							
	ミクロ経済学2	EK2307	中級ミクロ経済理論のうち、不完全競争市場に関するものとして、ゲーム理論の応用・情報の経済学・独占市場の理論の3つを学ぶ。		○		◎	○	○	○							
	マクロ経済学1	EK2308	「マクロ経済学入門」で学習した内容をさらに進め、基本的なマクロ経済学体系を学習しながら、最終的にはIS-LM分析を習得することを目的とする。（阿部）	○	◎		○	○			○						
	マクロ経済学2	EK2309	マクロ経済理論を学習するし、それを応用して、社会の経済現象を理解し、説明する力を養う。	◎	◎		◎	○			○						
	計量経済学	EK2310	データを用いて最小2乗推定量を計算する。最小2乗推定量、仮説検定等の回帰分析の結果を理解する。		○	◎		○									
	経済データ分析	EK2311	経済分析に必要な基本統計量から相関・回帰分析（最小二乗法）までをデータで計算しながら、基本概念と処理方法を理解する。		◎	○							○				
	政治経済学	EK2312	歴史的な視点から資本主義経済の特徴と現状について学び、その関連で経済学の歴史についても触れる。現代の様々な問題を、資本主義経済の特徴からより深く捉えることができるようになる。	◎	○				◎		○	○				○	
	現代経済学	EK2313	論理的思考力、基本的なデータ分析手法を実践を通じて身に付ける。	◎	◎	◎	◎										◎
経済学特殊講義	EK1306	毎年度、異なった領域を研究する教員が交代で、教員の専門領域の中から特定のテーマについて講義を行う。その後、そのテーマについての課題を受講学生に与え、学生がその課題についてのレポートを行う。	○	◎	◎				◎	◎						○	

経済学部 新カリキュラム科目

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。

*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

分野	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
応用経済と経済政策	財政学	EK2314	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○		○							
	公共経済学	EK3303	市場の機能と政府の役割、公共財の理論、最適公共支出の決定、外部性による市場の失敗と外部性の内部化、自然独占市場とその公的規制などについて理解を深める。	◎	◎		○					◎					
	金融論 1	EK2315	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、中級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を習得する。特に金融システムに関連したテーマを扱う。	○	◎		○			○	◎						
	金融論 2	EK3304	外国為替の仕組みや役割を学びながら最近までの国際金融の動きや変化を捉える。	○	◎		○			○	◎						
	国際経済学 1	EK2316	国際分業の理解を深める。WTOの下での貿易政策のケーススタディを行う。金融政策と為替レートとの関係を学ぶ。	○	◎		○	○									
	国際経済学 2	EK3305	国際経済学の基本理論の理解を基礎に、現代的なトピックス（貿易と環境、情報技術の発展と国際分業など）への応用分野を学ぶ。	○	◎		○	○									
	経済政策論 1	EK2317	市場メカニズムを中心に営まれる経済において、政府の公共政策が果たすべき役割と意義、ならびにその機能を、厚生経済学、公共経済学の理論的基礎に立って、体系的な理解を得ることを目的とする。	◎	◎		○					◎					
	経済政策論 2	EK3306	都市政策について、基礎編では、都市の取り巻く今日の環境を踏まえた、その構成要素の解説、実践編では実例を通じて理論的枠組みを理解する。	◎			◎					○					○
	産業組織論	EK3307	産業組織論のアプローチを身につけることとともに、特に企業に焦点をあてて、様々な戦略行動の経済学的解釈を理解することを目的とする。	○	◎	○	○	○									
	労働経済学	EK2318	現代社会に幅広く存在する労働問題をデータを基にして理解し、経済学のツールを用いて解決策を自ら導くことができることを目的とする。	◎	○	○	○					○					△
	社会保障論	EK3308	社会保障の必要性および歴史と理念、制度と機能、現状と課題を概観し、医療保障・所得保障・介護保障の現状と課題について理解を深めることができる。	◎			○	○			◎		○				
	資源経済学	EK2319	天然資源に共通する経済理論および市場特性を中心に講義する。資源量評価、価格形成、市場構造、資源と経済発展などがテーマである。	◎	◎			◎			○		○				△
	資源・エネルギー政策	EK3309	現代社会に不可欠なエネルギーを取巻く課題と政策が主題である。基礎知識、エネルギーと経済、国際市場、固有の政策などを扱う。	◎	◎			◎			○		○				△
環境経済学	EK2320	環境問題の経済理論的説明ができるようになり、経済成長と環境保全のトレード・オフ、およびその切り離しを理解すること。	◎	○		◎				◎		○					
エコロジー経済論	EK3310	人類が地球という星で経済活動をする際に直面する生態学的、物理的諸制約を理解すること。	○			○				◎		◎	○				

経済学部 新カリキュラム科目

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。

*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

分野	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
学科展開科目 各国経済と歴史	経済史 1	EK2321	アジアとヨーロッパ間における経済的関係の形成過程を通して、国際関係・秩序の構造と論理を理解すること。	◎	◎	○	◎	◎		○						
	経済史 2	EK2322	ヨーロッパ中世商業革命・市場経済システム、主権国民国家・市民革命・産業革命、グローバリゼーション、勢力均衡、ドイツ国民国家の理解を目指す。	○	○		◎	○					○			
	経済社会学	EK2323	経済学と社会学の学際的分野である経済社会学における理論と分析事例を検討し、経済社会現象をより広い視点から総合的に理解できる。	◎	○		◎				◎				○	
	外国経済論 1	EK2324	資本主義体制とは異なる社会主義体制の基本性格と特徴を旧ソ連邦・東欧諸国の具体事例に基づき説明し、体制比較の重要性を明らかにする。	◎	○		◎	◎						○		
	外国経済論 2	EK3311	第二次大戦後での欧州の分裂と統合の過程を説明し、統一欧州経済圏の目的と意義を明らかにすると共に、日米欧の経済関係の変遷を明らかにする。	◎	○	○	◎	◎								
	日本史概論	EK1307	日本の歴史を、特に体制や政権の成立・展開・衰退の過程に重点を置いて考え、歴史文脈における因果関係を考察する。				○	◎		○						
	現代日本経済史	EK2325	明治・大正・昭和の経済の発展過程を、明治国家の軍国設計とその現代化との関連で明らかにする。	○				◎	◎		○					
	日本経済論	EK2326	戦後日本の経済を戦後改革、朝鮮戦争、高度成長、70年代以降の外的ショックと対応の時期で解明する。	○				◎	◎		○					
	外国史概論	EK1308	ヨーロッパ中世文明とイスラム文明の融合、ルンサンス宗教改革、市場経済の成立とそのグローバル化主権国民国家の理解を目指す。	◎	○		○						○	○		
	人文地理学概論	EK2327	世界の各地域において経済、社会、政治、文化など人間が行っている活動が、その地域の環境条件に適合しながらいかなる空間的プロセスを経てどのようなパターンを示すかを明らかにする。	◎		◎			○		◎				◎	△
	自然地理学概論	EK2328	世界の多様な地形の発達過程について学ぶ。そしてそれらの地形と、生活様式・災害・文化との関係について理解する。				◎	◎		○					○	
	開発経済学	EK3312	現在も問題視され続けている経済格差・貧困をもたらす要因・背景を明らかにして、その対策を考えることが目的である。	◎	◎	○	◎	◎			○					
	地誌学概論	EK2329	地球上のある地域において、経済、社会などの人間活動が互いに関連をもちながら、いかなる空間的パターンを示すかを多面的に考察し、その地域の個性を生み出しているかを明らかにする。	◎		◎			○		◎				◎	△
経済英語	EK2330	身近な世界企業の成功と失敗の歴史と現状について英語を通じて具体例を学習する。これにより企業が抱える問題を理解し、また英語のコミュニケーション能力を養う。	◎							◎	○		○			

経済学部 新カリキュラム科目

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。

*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

分野	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
法制度と公共政策	法学概論	EK2331	私たちが「モノ」を買う、車を運転する、好きな人と結婚する、親から財産を相続するなどといった日常生活での通常の行為と密接な関係にある「法」について学ぶ。	◎			○	◎	○								
	憲法概論	EK2332	「国の最高法規」「国の基本法」である憲法が制定された背景と意義、現代社会における憲法論議について学ぶ。	◎			○	◎	○								
	民法	EK2333	私法一般法である民法を学ぶ。講義では総則・物権・債権を中心に解説し、経済社会で不可欠な契約や不法行為に対する法的思考を養うことを目的とする。	○				◎					◎	○			
	商法	EK3313	商法とは、一定の計画に基づき、継続的意図をもって営利活動を行う「企業」を対象とする法であり、企業の特異性から、同じく私人間の関係について定めた民法とは異なる考え方が基本原理となっている。この授業では実際の判例などを紹介しつつ、「商法」の理解を深めたいと考えている。	◎			○	◎		○			○				
	経済法	EK2334	経済法は一般消費者の利益を守るための法律であり、独占禁止法などを中心とする「経済法」の知識は、とりわけ企業法務にかかわる人には必要不可欠なものである。この授業では経済法の歴史的背景や具体的事例を紹介しつつ、経済法についての理解を深めることを目的とする。	◎			○	◎		○	○	○					
	行政法	EK2335	出生・婚姻・家の新築や増改築・公的施設利用・保育所への入所・公立学校教員による体罰や学校事故・生活保護や介護保険・税金など、私たちの生活に関わる「行政」に関する法について学ぶ。	◎			○	◎	○								
	行政学	EK2336	多様な行政サービスの提供など、私たちの生活に大きな影響を与えている行政の役割と活動、仕組みを理解するとともに、行政を観察し、分析する学問である行政学の基礎理論を学ぶ。	◎		○	○	◎							○		
	政治理論1	EK2337	古代から近代前半の政治思想を対象に、政治社会の善と正義とはなにかを原理的（概念的）に考えることができるようになる。				◎	◎	◎	○			○				△
	政治理論2	EK2338	近代後半から現代の政治思想を対象に、政治社会の善と正義とはなにかを原理的（概念的）に考えることができるようになる。				◎	◎	◎	○			○				△
	公共政策演習 1	EK1309	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に憲法をテーマに演習問題を中心に行う。					○				◎		○			
公共政策演習 2	EK1310	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に民法をテーマに演習問題を中心に行う。					○				◎		○				

経済学部 新カリキュラム科目

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱える様々な課題に対する関心と問題意識を持つことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治・法律分野とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦経済社会の現実における課題を自ら発見し、経済学を基盤とした知識を実際の経済社会へ応用することができる。 ⑧建学の精神である「敬神愛人」に基づき、他者に対する温かいまなざしを持って社会で活動することができる。 ⑨より良き経済人として、経済社会のルールを順守する倫理観を持つことができる。 ⑩地域社会の求めることを的確に把握し、課題解決に向けて意欲と責任感をもって貢献していくことができる。

*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

分野	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
	公共政策特別演習 1	EK2339	公務員志望者向けの科目である。教養試験に対応するための実践的な講義であり、教的処理、特に判断推理と空間把握を中心に行う。秋学期の公共政策特別演習2とあわせて履修することを強く推奨する。なお、教的処理分野の充実を図るため、毎回問題演習が課され、自主的に学生が勉学するよう指導する。						○			◎		○		
	公共政策特別演習 2	EK2340	公務員志望者向けの科目である。教養試験に対応するための実践的な講義であり、教的処理、特に教的推理と資料解釈を中心に行う。春学期の公共政策特別演習1とあわせて履修することを強く推奨する。なお、教的処理分野の充実を図るため、毎回問題演習が課され、自主的に学生が勉学するよう指導する。						○			◎		○		
学 科	企業連携演習 1 a	EK1311	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	
	企業連携演習 1 b	EK1312	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	
	企業連携演習 2 a	EK2341	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	
	企業連携演習 2 b	EK2342	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	
	企業連携演習 3 a	EK3314	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	
	企業連携演習 3 b	EK3315	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎					◎	◎			◎	
	企業研究 1	EK2343	現代社会における企業について、製造業を中心に企業の現場に出かけ、最前線の息吹や諸問題に直接触れ、現地で五感を通して系統的に学ぶことができる。	○							◎	◎			◎	◎
	企業研究 2	EK2344	名古屋県の経済と経営に光を当て、その多様な実像と課題について、企業や行政などの第一線で活躍する経営者・専門家による講義を通して学ぶことができる。	○		○					◎	◎			◎	
	経済キャリア演習	EK2345	トップブル教育 (GPA2.5以上) として、企業が求めるソーシャルスキルを涵養するとともに、経済学部への帰属意識を喚起し、経済学部へ貢献する学生 (SA等) を育成する。また、経済学部とのかかわりに焦点化したキャリア意識を醸成する。								◎		◎		○	◎

